

# マイクロプラスチックの原因

武田 蒼空  
西村 海人  
長谷川 翔平  
門田 陽空  
藤崎 凱斗  
中村 穫  
無津呂 托朗  
前潟 陸



# マイクロプラスチックの種類

マイクロプラスチックは2つのグループに分けることができます。

一つは製造された時点ですでに5mm以下の小さなプラスチックで、一次マイクロプラスチック。

一次マイクロプラスチックは洗顔料、化粧品、洗濯洗剤の中にも プラスチック製品 が使用されている。それが一次マイクロプラスチック。

もう1つは、プラスチック製品 が劣化して小さくバラバラになったもので、二次マイクロプラスチック。

大きめのプラスチックゴミの分別によって生じる 二次マイクロプラスチック は 一次マイクロプラスチック より遥かに多量。微粒子やナノ粒子の環境放出量は増え、破碎するプロセスが時とともに無限に増えているためです。消え去るまでに数百年かかる と思われる。サンプルを収集しこの破片の濃度を計測するために数多くの調査が実装されてきました。その結果、海面・深海問わず、海岸や入り江、外洋、さらには赤道から極地に至るまで地球の最も辺鄙な場所であっても、二次マイクロプラスチック は海洋環境中のどこにでもあることがわかっています。

マイクロプラスチックは主にプラスチック製調品が原因となっています

マイクロプラスチックとは、ペットボトルなどのプラスチック製品が海や地面に放置され太陽光による紫外線や海洋での波の力でプラスチックが0,01ミリから0,1ミリほどの大きさのプラスチックのことです。

特に最大のマイクロプラスチックの特徴は焼却しない限り、自然に残り続けることです。つまり自然の中で分解されずにただただ蓄積されていくだけのことです。それを魚や動物が食べてしまいそれをもっと大きな生き物が食べてしまい生態系のバランスを崩してしまうおそれもあります。

他にもマイクロプラスチックはとても小さいので見つけるのがとても困難です。以上の理由によりプラスチックは環境にとっても悪いことがわかります。

まとめ

マイクロプラスチックはプラスチック製品などからできている。  
マイクロプラスチックはとても小さく見つけるのは難しい。  
プラスチック製品は自然分解されない。

# まとめ

マイクロプラスチックはプラスチック製品  
などからできている。

マイクロプラスチックは  
とても小さく見つけるのは難しい。  
プラスチック製品は自然分解されない。



見てくれてありがとう！！

